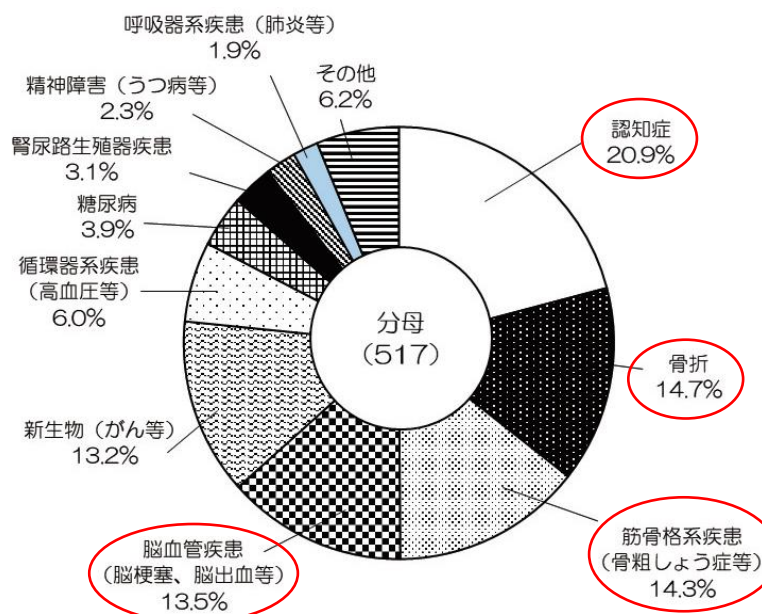


高齢者の健康から見る古賀市の実態

1. 要介護（支援）新規認定に至った原因疾病の状況（第8期介護保険事業計画・第9次高齢者保健福祉計画より）



※平成31年度に認定を行った要介護（支援）新規認定者の主治医意見書に記載されている「生活機能低下の直接の原因となっている傷病」の第1位に記載されている傷病名を基に分類。

第1位に複数の傷病名が記載されている場合は、すべての傷病を算定に使用。

2. 後期高齢者の状況（健診・医療・介護データの一体的な分析から重症化予防・介護予防を見る）

（令和2年度分のデータより）

【健康課題】

- ・健診受診者が少ない。
- ・健診有所見者のうち、未治療・治療中断者、臓器障害ありへの対応
- ・痩せ傾向、肥満者への対応（フレイル、生活習慣病、筋骨格系疾患対策）
- ・後期高齢者の8割は、生活習慣病で受診している。そのうち約8割は高血圧、約5割は糖尿病。
- ・高血圧や糖尿病を有す人のそれぞれ約7割が、合併症（脳血管疾患、心不全、虚血性心疾患、腎不全）を併せ持っている。
- ・「脳」「心臓」「腎臓」で大きな疾患を起こすと、約3割は要介護状態へ移行する。
- ・骨折や認知症を発症すると、要介護状態へ移行しやすい。（75歳以上の15%が骨折している。）
- ・骨折や認知症を発症した人の約8割は、基礎疾患に「高血圧」や「糖尿病」を有す。
- ・健康状態不明者：399人

【対策】

- 健診受診率の向上
 - 未治療・治療中断者への個別アプローチ
 - 高血圧対策（減塩、服薬管理）
 - 骨折・フレイル対策
 - 医療機関受診中の方への重症化予防、介護予防（再発予防）対策
- ※糖尿病対策は、後期高齢者に対しては遅い。若い頃からの取組が重要である。